

令和7年度 住民組織意見交換会報告

1 概要

住民組織同士の交流、連携のきっかけづくりのため、住民組織の代表者、役員等を対象に実施。グループワークにより、他の組織を知ることによって活動や運営のヒントを得ることを目的とする。

2 日時

令和8年1月30日（金）①13時30分～15時00分
②18時30分～20時00分

3 場所

三原市役所8階 801会議室

4 出席者

住民組織 代表者及び役員等 49名（①39名、②10名）



5 プログラム

(1) 住民組織への行政の支援について（説明：三原市地域企画課）

(2) 意見交換

- ・グループワーク①

すぐろくを使った住民組織活動の紹介

- ・グループワーク②

テーマ別意見交換（デジタル化、資金、役員や活動の参加者、情報提供等）



(1) 住民組織への行政の支援について（説明：三原市地域企画課）

三原市から2月1日付回覧で配付した「住民組織お助けブック」の概要や使い方について説明しました。

住民組織お助けブック



この本で分かること！

- ・住民組織に毎年ある依頼事項
- ・住民組織を対象とする市の支援制度
- ・デジタルツールの紹介



| 依頼事項スケジュール | |
|------------------------------------|-----|
| 依頼事項等 | メモ欄 |
| 4月 | |
| 【補助金】住民組織活動補助金申請 (P.10) | |
| 【交付金】地域経営推進交付金申請 (P.11) | |
| 【委託】コミュニティホーム管理委託契約締結 | |
| 【依頼】古紙等資源集約回収団体届出書 (P.18) | |
| 【依頼】認可地縁団体の法人市民税均等割申告・減免申請 (P.27) | |
| 【依頼・公費】健康・健康基金・公費協会費「地区衛生組織活動資金募集」 | |
| 【依頼・防犯】防犯連合会への加入及び会費の納入 | |
| 5月 | |
| 【依頼】住民組織届出 (P.10) | |
| 【依頼・社協】社会福祉協議会会費・日赤会費 | |
| 【依頼】緑の基金 | |
| 【依頼】自主防災組織代表者・活動予定報告 | |
| 6月 | |
| 【補助金】敬老事業補助金 (P.24) | |
| 【依頼】空き缶等回収品ごみ回収キャンペーン | |
| 7月 | |
| 8月 | |
| 【依頼・社協】地区社会福祉協議会等功労者の推薦 | |
| 9月 | |

※1 公費協：三原市公衆衛生推進協議会 (P.25)
※2 防犯連合：三原市防犯連合会 (P.24)
※3 社協：三原市社会福祉協議会 (P.25)

支援制度の概要（令和8年1月時点）

1 住民組織活動への支援

住民組織活動補助金

電子申請 実用中



実施内容 地域活動や人材育成に対して補助金を交付
対象者 住民組織（基礎組織、活動中核組織、地区連合組織）
※地域経営推進交付金の対象団体を除く
補助金額 地域活動・・・世帯数に応じて交付（3万～80万円）
人材育成・・・上限20万円（1,000世帯を超える活動中核組織、地区連合組織）
問い合わせ先 三原市役所 地域企画課 電話：0848-67-6184
本郷支所 地域振興課 電話：0848-66-1111
久井支所 地域振興課 電話：0847-32-7114
大和支所 地域振興課 電話：0847-33-0222

住民組織協力費

電子申請 実用中



実施内容 文書閲覧等の依頼に対する報酬金
※生活環境推進員制度にかかわる生活環境保全分を含む
対象者 住民組織
支払金額 世帯別額・均等割額＝住民組織協力費
※世帯別額、均等割額は地域や世帯数により異なるため、詳細は各地域の問い合わせ先にご確認ください。
問い合わせ先 協力費の受領には、住民組織届出書の提出が必要です。
生活環境推進員制度については、生活環境課（0848-67-6186）へご連絡ください。
問い合わせ先 三原市役所 地域企画課 電話：0848-67-6184
本郷支所 地域振興課 電話：0848-66-1111
久井支所 地域振興課 電話：0847-32-7114
大和支所 地域振興課 電話：0847-33-0222

グループワーク①すごろく
すごろくで止まったマスに書いてあるテーマで話しながらゴールをめざしました。ゲームの中で他の住民組織の取組を知ることができました。



| 主な意見 |
|--|
| 【新年度最初の行事は?】 ・ 溝掘り ・ 運動会 |
| 【夏祭りの人気No1は?】 ・ ピンゴ、くじ引き(外れなし) ・ (アルコールを含む) 飲み物 ・ かき氷などを無料で提供 |
| 【行事での暑さ対策は?】 ・ 飲み物を提供 ・ 朝の開始時間を繰り上げ ・ 運動会を夜に実施 ・ スポットクーラーを用意した |
| 【子どもたちとの交流は?】 ・ もちつき・とんど・ラジオ体操 ・ 山登り・子ども神輿 ・ 橋が完成したときに絵を描いてもらった |
| 【活動参加の呼びかけのコツは?】 ・ 景品を用意する ・ 放送より回覧板の方が効果的 ・ 町内会だよりでお知らせする |
| 【役員の引継ぎの方法は?】 ・ 対面での引継ぎ |
| 【その他：カードの質問】 ・ 思い出の行事は?→もちまき ・ 防犯について→総会に諮って防犯カメラを設置した ・ ゴミ出しについて→各住民に番号をふって、ごみ袋に書いてもらう |

【テーマ1 デジタル化について】

○個人情報について

- ・（避難行動要支援者同意者名簿について）災害対策のためということを理解してもらいながらもらっている。
- ・市からもらう敬老会のリストも含めてデータ化している。
- ・個人情報は絶対にもらわないようにしている。必要な時は、使用後にすぐ破棄する。

○回覧について

- ・Googleの無料ツールを使い、電子化している。

【参考】

スマート回覧板（北方地区）

<https://tinyurl.com/smt748>



生成AIによる会議レポート
（北方地区提供）

令和7年度 住民組織意見交換会レポート：統計で見る！地域活動の課題と解決策

開催日時：令和8年1月30日（金）
第1部（13:30-15:00）と第2部（15:30-16:00）の2回開催

議論の2大テーマ
①デジタル化・情報活用
②行政サービス・子育て支援

主目的：住民組織間の交流と、活動・運営のヒント発見
抱い手不足や組織の課題を話し合い、地域活動の活性化を促す。自治体との連携交換から見出す。

参加組織の関心と規模
デジタル化（700名）
情報活用（210名）
行政サービス（100名）
子育て支援（100名）
防災・安全（100名）
高齢者（100名）
障がい（100名）
環境（100名）
その他（100名）

グループワーク1：活動アイデア共有会（すごろく形式）
夏祭りの工夫：アニメソングで盛り上げる。子供達から大人まで、夏祭りに参加する機会が増える。ステージにアニメソングを流すというアイデア。子供から大人まで盛り上がり、350〜400人が参加した。
歳時対策の対策：「後の運動会」は子供達から大人まで、夏祭りに参加する機会が増える。ステージにアニメソングを流すというアイデア。子供から大人まで盛り上がり、350〜400人が参加した。
活動のきっかけ作り：「お祭りゲーム」を開催し、子供達から大人まで、夏祭りに参加する機会が増える。ステージにアニメソングを流すというアイデア。子供から大人まで盛り上がり、350〜400人が参加した。

子ども参加の組織：「子どもが参加すれば、親も来る」子ども参加の組織を増やすことが、親の参加の機会を増やす。地域の活性化を促す。自治体との連携交換から見出す。

定く活動会の活用
活動会では、定く活動会での活動にカーブや会議、イベント参加など活用機会を増やす。活動会の活性化を促す。自治体との連携交換から見出す。

グループワーク2：主要課題と解決策
抱い手不足と組織運営の工夫
会長7年、会長11年、副会長5年、副会長11年、役員1年
対策：副会長を2年経験してから会長を1年経験する。
対策：副会長を2年経験してから会長を1年経験する。

デジタル化と情報活用の先進事例と課題
先進事例：北方連合会の「電子回覧板」運用。Googleドキュメントを活用し、ウェブサイトで「電子回覧板」を運用。自治体との連携交換から見出す。
LINEグループ導入の現状：1200名中40人が参加。自治体では「LINEグループ」を導入している。自治体との連携交換から見出す。
課題：デジタル化と個人情報保護のジレンマ。自治体の個人情報保護の観点から、個人情報の取り扱いが厳格化されている。自治体との連携交換から見出す。

【テーマ2 予算や資金など】

○募金方法について

- ・住民組織として支払うことはやめ、個人の判断で募金してもらっている。
- ・会費として徴収し、そこから一括で募金している。
- ・町内をまわり、募金を希望される方のみ預かり町内でまとめて募金している。

○放送施設の整備に係る費用について

- ・なかなか難しいが、理解を得ながら総会で承認を得て支出している
- ・市の補助金を活用した
- ・建設当時に徴収した資金を維持管理費にあてている。

○会費について

- ・年額を各班長が取り集めて会長へ
- ・以前は引き落としていたが、銀行側の対応が変わり、できなくなった

○香典について

- ・家族葬が増え、個人情報に関係もあり、住民組織からは出さなくなった

【テーマ3 活動の参加者について】

○会長の選出方法について

- ・いきなり会長は大変なため、2年副会長をしてから会長に繰り上がるようにしている
- ・規則で最大4年に決め、交代はできるだけ副会長からなるようお願いしている。
- ・3役があり、そこから立候補してもらう仕組みだが、立候補が出たことはない。そのため、各組長から委員を出してもらい、そこから選出する。
- ・1年単位で交代している。負担がかかりすぎないように早く回す。
- ・個人的に頼んでいる。ただ、いきなり会長は大変なため、その前に1年役員をしてもらう予定。今のうちに、会長の負担が減るように取り組んでいる。
- ・組織を5班に分け、年ごとに交代で3役を選出している。しかし、人数も減り、しんどくなっているため、他の班にも負担してもらう方式に変えたいと思っている。
- ・2年の任期と決め、交代で務めている。
- ・会長を断られる代わりに会の運営についてやりやすいように交渉している。

【テーマ3 活動の参加者について】 つづき

○役員を選出方法について

- ・規約で最低2年と定め、班長など他の役職も含めて総会議案として決定している。しかし、会長は長期化している状態。
- ・元々選挙で決めていたものを推薦でも決定できるようにした。
- ・30代の人が3人で役員を引き受けてくれたことがあった。この人とだったら引き受けるといった形で、知り合い同士が同じタイミングで引き受け盛り上げてくれた。
- ・業務量を分担できるよう、2人で1つの役を持たせる工夫をしている。

○役員間の交流について

- ・若い人の希望を聞きながら、交流と防災活動と一緒にしている。役員以外も含めて子どもなども集まることができるようにビンゴなどもする。
- ・名札を付けて避難場所等を回るウォーキングや交流会を開催している。

【テーマ4 行事について】

○行事の種類

- ・ 祇園祭り・子ども神輿・クリスマス会・とんど・餅つき・くじ引き（174個用意）
- ・ 高齢者にはおせちを届けていたが、今は気持ちほどのお菓子を配る。
- ・ 地域の大きな祭りに合わせた活動、資源回収や老人クラブの行事など。
- ・ 組織内の各地域でのとんどや夏祭り、隔月の清掃活動、敬老会やスポーツ大会など。
- ・ 総会で行事を決めている。行事ごとに部会を割り当て、担当してもらっている。
- ・ 神社関係の集まりがある。

○行事の工夫、検討していること

- ・ 体育大会は熱中症予防のため10月末に変更した。
- ・ 暑さ対策のため、運動会は夕方から開催している。また、昼間だと予定が合わない人にも出てもらえる。
- ・ 秋祭りと防災訓練を兼ねて実施できないか検討中。
- ・ 行事はコミュニティセンターと一緒に開催している。

【テーマ5 情報発信について（回覧板、町内放送、広報など）】

○回覧以外の情報発信について

- ・ 役員のグループLINEを作っている。ただし、役員以外でも手伝ってくれる若い人がいるので、その人もグループに入れている。
- ・ 町内会全体でのグループLINEを作っている。（回覧板とは併用）
- ・ 回覧板にかがみ文を付けて、そこに近況などを載せている。
- ・ FM告知端末を使って発信している。

【その他】

○総会について

- ・ 書面決議としているが、集まった方が良くとも思っている。
- ・ 総会も含めてイベントごとでは、集まりやすくなるように議題や参加賞を工夫する

○ごみステーションの使用許可について

- ・ 未加入でも使えるが、費用負担と掃除当番はしてもらうようにしている。また、未加入者の使用希望があった場合は、担当の班長から加入を勧めてもらっている。